

## 交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。



本報告書は帰国後、1ヶ月以内に写真データと一緒にメールで提出してください。

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	University of Liege
留学先での所属学部・研究科:	HEC Management school of Liege
留学先での在籍身分:	学士(授業の大半は修士向け)
留学期間:	10ヶ月
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	4年
帰国日:	2023年6月30日
本報告書記入日:	2023/7/1

## 1. 留学先大学について

1-1	受入許可書(Acceptance Letter)を貰えた日	2022年5月頃	
	参加必須のオリエンテーション日	2022年9月5日	
	学期:	①	9月 6日～ 2023年1月 30日
		②	2月 1日～ 6月 30日
③		月 日～ 月 日	
④		月 日～ 月 日	
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	リエージュ大学は総合大学ですが、経営学部生の留学先であるHECはビジネススクールです。管理体制などはHECで独立していますが、授業そのものは他学部の学生も受けることができます。ビジネススクールということもあり、修士学生が非常に多いことが特徴です。その分、授業やチームプロジェクトが難しいですが、やりがいがあります。	
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。		
	語学面でのサポート:	留学生はフランス語の授業の履修が義務付けられました。授業の機会をもらえたことはいいのですが、クラス分けや時間割を一時的に行われるので、HECの授業との調整が度々必要になりました。	
	勉学面でのサポート:	特になし	
	精神面でのサポート:	特になし	
	住居・生活面でのサポート:	特になし	
	課外活動のサポート:	特になし	

## 2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	リエージュ市の市街地に大学があるため、家賃が基本的に高い。大学寮などはかなり高く、600€以上がベース。その分、個別シャワーやオートロックなど設備がいい。自分はシェアハウスに住んでいたが、家賃が高いため自分で地元の不動産サイトから賃貸契約を結んだ。生活の質は落ちるが、妥協すれば300€ほどから生活できる。
-----	--------------------------------------	---

## 3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	wi-fiは各住宅についていることがおおい。スマホは、長期契約がIDカードがないと結べないため、プリペイドSIMにチャージしていた。Orange, mobile bikingなどがおすすめ。
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。 大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	インターネット費は家賃込み。スマホは月15€ 大学内はwifiが基本使える
3-2	医療について 留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	病院には行ってない
3-3	銀行口座等について	7030€を事前に大学口座に振り込み、資金があることを証明した。こちらでの生活はwiseという海外送金サービスを利用しており、その口座から現金などを引き落としていた。インターネットバンキングは、わざわざ出向く必要やIDカードの発行を待つ必要がないためおすすめ。
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	wiseのサイトにアクセスして、ガイドラインにそって申請する。口座は即日開き、キャッシュカードも1週間以内に届く。

## 4. 経費について(奨学金、留学費用)

4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	阪和育英会奨学金
	支給額(円/月):	70,000
	その他(渡航費等の支給):	150,000
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	190,000 円
	住居費:	(月額) 90,000(引越後50,000) 円 × (留学月数) 10ヵ月 = 700,000円
	食費:	(月額) 200,000 円 × (留学月数) 10ヵ月 = 2,000,000 円
	保険料:	円
	その他:	500,000
	合計(留学期間全体の費用):	1,400,000 円

5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	何事もスロースタート。飲食店は基本的に12時ごろからスタートし、行政サービスもかなり遅い。慣れるまでは少しいら立つ。基本的に人は優しいので、頑張ってフランス語を話そうとすれば助けてくれる。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	ほとんど国外に旅行に出かけていたため、旅先で会う人と一緒に観光したり、Instagramを交換して遊びに行ったりしていた。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	なし
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	治安はベルギー国内でもかなり悪いほうだと思う。重犯罪は少ないが、ゴミの不法投棄や落書き、ドラッグなど軽犯罪は日常的である。昼は問題ないが、夜はクラブやバーの近くはかなり不穏な空気をまとっている。

6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	留学生を対象としたインターンに参加。既に志望企業が固まっていたため、自分で面接対策を行っていた。時差がある中就活をするため、自分が本当に行きたい企業にだけ全力を注いだ方がいいと感じる。内定を取りに行くのは、仮にそれで全敗してからでも遅くないと思う。

7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	特になし
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	100円ショップで買うようなものこそ持参したほうがいいと思う。現地では安い雑貨店などなく、ちょっとした掃除道具や小物でも高いため。逆に、食糧、衣類、化粧品はすぐ手に入る。
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	精神力の向上。他人にどう思われるかより自分がどうしたいか、自分の行動に責任とリスクを持つ、意思をはっきりと伝え、時に拒否する、等精神的にかなり頑丈になった。自分は通算5か月ほどは国外にいたためフランス語はあまり上達しなかったが、旅先で多くの出会いやトラブルにあったことで、人間力がかなり上がった。
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:( 60 ) 点 → 帰国後:( 80 ) 点
7-4	振り返って見て、何が最大のトラブルでしたか。	IDカードが発行されず、数日間不法滞在者扱いされたこと。行政サービスは当てにならないので、そこまで悲観的にならなくてよい。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	ベルギーだけでなく、ヨーロッパ圏は物価の上昇がすさまじい。また円安ということもあり、資金面でかなり苦労した。月7万円の奨学金では家賃すら払えないので、大学は奨学金をより多くの学生に、より多くの額を支払うべきだと思う。英語圏の学生はアルバイトができるが、フランス語圏やドイツ語圏の学生はアルバイトができないため、そのあたりも考慮すべき。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	薦めない。 1年間という縛りが良くない。過去の先輩方の中にも、1年行くことで就活に支障がでるからあきらめたという人がいると聞いている。他学部が短期留学を募集している一方、「1年ほど勉強しないと身につかないから」という指導教員の個人的見解で1年を強要するのは学生にとって迷惑。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に教えてください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	5
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	3
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	2
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	1
	・全体として留学に係る費用は安かったかと思いい、満足しましたか	1
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	2
・留学全体の総合的な評価	3	

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)		
<p>ベルギーはヨーロッパの中心に位置しており、旅行に最適な環境です。留学中にヨーロッパ旅行を楽しみたい人にはおすすめしたいです。また、フランス語圏であるためフランス語に興味がある方も適していると思います。HECはビジネススクールということもあり、日本では経験しなかったような実用的な学びを身に付けることができます。どの授業にもグループワークがあり、3か月間チームで議論し、プロジェクトを成功させるために努力します。学部生で行くと、市場調査の方法や投資金額とキャッシュバックの計算など、かなりてこずりますが、周りに修士の学生が多いので彼らに引っ張ってもらいながら自分を高めることができる環境です。</p> <p>あまりよくない点としては、物価の高さです。個人的な意見では、ヨーロッパ諸国の物価は低い順に東欧、中央、南欧、スペイン・ポルトガル、イタリア、ドイツ、ベルギー、イギリス、フランス、北欧、という風になります。円安ということもあり、日常生活でも多くのお金を使います。事前に資金を十分用意したうえで留学することをおすすめします。</p>		

9. 留学経験の共有について		
あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書と共にGEMsにアップロードしてください！		
	もしあなたと同じ大学(国)に留学する神戸大学の学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか？	はい
	同意する場合、連絡可能なメールアドレス:	

## 1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数/週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Internatinal relations Organization	HUBIN Madeleine-Marie	120	6ects	英語	60人	国際社会や国際情勢、国際機関に関する教養入門。オンライン上でスライドが配布され、予習は必要ないが、これまで日本語で見聞きしていた国際機関や問題を英語で聞くため、難しいように聞こえる節がある。期末試験に加えて、グループでのプレゼン及びレポートによって評価がつく。
2	Intercultural Marketing	Claire	180	5ects	英語	100人	異文化マーケティングを、過去の事例と共に学習していく授業。グループワークに関して、かなりレベルが高い。学部生には経験したことのない事細かな調査が要求され、英語でのレポートにも苦戦するため、やる気がないとなかなか最後のプレゼンまでたどり着けない。
3	Marketing Concepts and Decision Making	CADIAT Anne-Christine	180	6ects	英語	60人	授業自体は復習をすれば追いつける程度の難易度だが、グループワークがかなり難しい。Hivyという日本でいうノンカロリーチューハイのようなアルコール飲料をベルギーで流行させる施策を提案する。リサーチの質量ともに高く求められるため、学期中は週に2回程度チームで集まりミーティングを行っていた。講義は教科書の予習程度で十分追いつける内容。
4	Strategic Human Resource Management	PICHAULT Francois	180	5ects	英語	100人	講義はオンラインと対面を組み合わせて実施される。1週目には教授が用意したスライド資料、講義映像、ケースステディ資料を各自確認して理解を深める。映像時間は120分ほど。2週目には教室に集まって授業内容に関する質問や、不明点などを自由に質問する。また、ケースステディに関しては教授とディスカッションを行いながら確認を行う。

## ・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

## カリキュラムについて

ビジネススクールという側面からか、グループワークにかなり力を入れている印象を受けました。自分たちでチームを組み、3か月間目標に向かって議論し、プレゼン(レポート)を完成させる、という一連の流れをほぼすべての授業で行いました。主体的な授業に関心がある方には良い環境だと思います。

## クラスのサイズ

60人~100人単位です。他学部から生徒を受け入れているものはより多くなります。構成は半数以上がマスター、EU圏留学生、現地学生、アジア系学生の順です。私だけかもしれませんが、友人の大半が学生だったので、学業において何かと引っ張ってもらえてよい環境でした。

## 現地学生の取り組み

とてもまじめです。試験期間前は予約が無いと図書館の席が埋まってしまうほど、朝から夜まで勉強を行っています。試験が難しいものが多いため、かなりの時間をかけて臨んでいる印象でした。先述した通り、マスターの友人が多かったため、レポートの書き方や言い回しなどにもこだわっている人が多い印象でした。